

## ばい煙の処理方法概要書

工場又は事業所におけるばい煙処理施設の番号					
工場又は事業所におけるばい煙を発生する機械の番号					
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式					
設置年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
設置工事の着手予定年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
処理能力	排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	最大			
		通常			
	排出ガス温度 (°C)	処理前			
		処理後			
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/m <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		いおう酸化物 (容量比 ppm)	処理前		
			処理後		
		カドミウム及びその化合物 (mg/m <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		処理前			
		処理後			
	ばい煙量	いおう酸化物 (m <sup>3</sup> /h)	最大	処理前	
			通常	処理後	
最大			処理前		
通常			処理後		
捕集効率 %	ばいじん				
	いおう酸化物				
	カドミウム及びその化合物				
使用状況	1日使用時間及び月間使用日数等		時~ 時h/回 回/日 日/月	時~ 時h/回 回/日 日/月	時~ 時h/回 回/日 日/月
	季節変動				
排出口の実高さ (m)					
補正された排出口の高さ (m)					
排出速度 (m/s)					
※ 審査結果					
※ 備考					

注 1 ばい煙の処理施設の新設又は増設の場合には、設置工事の着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、既設の場合には設置年月日の欄に、変更の場合には設置年月日、設置工事の着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄は、それぞれ記入すること。

- 2 ばい煙の濃度の欄には、乾きガス中の濃度を記入すること。
- 3 補正された排出口の高さの欄には、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算出により算定して得た数値を記入すること。
- 4 ※印欄は記入しないこと。
- 5 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。